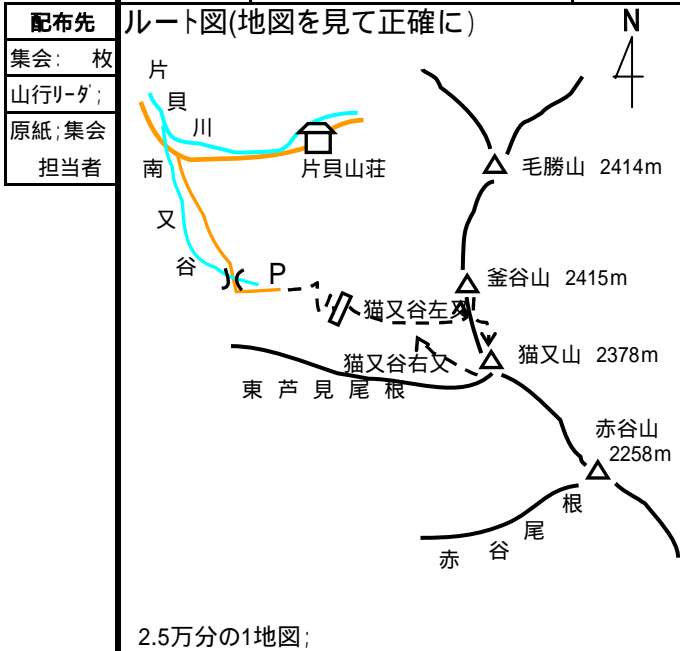


5月度 個人山行報告書

報告者: 渡辺勝利

報告日: 05.06.02

山域	剣岳北方(片貝川流域)	山行日	05年05月20日(金)~	参加 メンバ-	CL: 藤田健治 M: 塚本英吾、渡辺勝利 岡田晋、吉枝
山名	釜谷山、猫又山		05年05月22日(日)		
山行目的	剣岳北方稜線のトレース		(2泊3日)		



5/20(晴)	5/21(快晴)	5/22(晴のち曇り)
19:30 刈谷発 車2台に分乗、 荘川ICで降り R156を北上す るもトンネル工 事で通行止め、 止む無く清見 経由R41で富 山へ、東海北 陸道 魚津IC から片貝山荘 に入る。	4:20 起床 5:00 車1台で出発 5:30~40 南又谷 車デポ 6:50 砂防堤 8:30 二股 11:40~12:00 北方稜線の 左又のｺﾙ 12:40~13:05 釜谷山頂上 13:15 ｺﾙ 14:00~25 猫又山頂上 14:45 東芦見尾根の 右又のｺﾙ	15:10 二股 15:20 砂防堤 17:00 車デポ地 17:30 片貝山荘着
0:50 片貝山荘着 先客少なく、大 部屋を独占。		5/22(晴のち曇り) 5:00 起床 7:00 出発 8:00~20 大平山登山口 9:05~45 頂上 1090m 10:10 登山口 11:00~50 天神山温泉 400円/人 17:30 刈谷着

< 山行記録 >

剣岳から北へ伸びる稜線は俗に「北方稜線」と呼ばれ、高度が低いにも関わらず夏道を持たず、そのために一般登山者の入山を拒み続けている岳人にとって憧れの山域である。その中でも特に毛勝三山は、西面の谷が雪渓で埋め尽くされる4月~5月が絶好の登路となるため割合取り付き易い山域である。我が部は昨年5月に毛勝谷から毛勝山への登頂を果たしているため、今回は釜谷、猫又山をトレースすべく、勇躍刈谷を出発した。途中で道路工事の通行止めに遭遇したため、R41への周回道を強いられたものの馴染みの片貝山荘には夜半に到着。どうやら1時間程度の遅れで済んだようだ。早速二階の大部屋を独占し明日に備えて早々に就寝。翌朝は明るい青空の広がる絶好の登山日和となった。片貝山荘から一旦下り、南又谷林道に入る。しばらくすると魚津市の指定「胴杉」の広場となるが、橋を渡った先まで車が入れそうなので、行ける所まで行ってみようかと車を走らせたがほどなくデブリで道をふさがれ、取水口の駐車場に車をデポし林道歩きを開始する。一時間程で砂防堤に到着しここからがいよいよ雪渓歩きとなる。見上げると眼前には陽の当たらない北方稜線が黒々と横たわり、それに突き上げる雪の帯の白とのコントラストがいやが上にも闘志に火をつける。先行パーティがあるものの静かで雪渓を吹き抜ける風も心地よい。二股までは比較的なだらかな勾配であったが、我々は左又ルートに登ることにする。通常は右又ルートを取るらしく、先行パーティは傾斜のやや緩い雪渓を登っていった。陽の当たり始めた急峻な雪渓を一步づつ慎重に歩を進めるものの両側の岩尾根が間近に迫るころには息使いも荒くなり、稜線への草つきをさらに慎重に越してｺﾙに出た時は息も絶え絶えの状態であった。小休の後、釜谷山へのルートを取る。稜線上はアップダウンも少なく、思いのほか早く頂上に着く。紺碧の空にはるかかなたに剣岳が白く輝き、後立山連峰の鹿島槍の双耳峰が美しい姿を見せている。北から南まで眺望は思いのまま、まさに五右衛門ならずとも「絶景かな、絶景かな」と叫びだしたくなるような一大パノラマを提供してくれる。この景観を十分に堪能したあと、先ほどのｺﾙに戻り、今度は猫又山を目指す。1ピッチも掛からない程度で山頂に到着。右又を登って来たパーティとも会い、お互いに健闘を讃えあう。ここでも剣北面の景観をもう一度十分に堪能した後、右又を下降する。降り口はやや急だったものの、次第に傾斜も緩やかになり最後は駆け足で下る。砂防堤からの林道歩きも登頂の満足感に浸りながらで苦にならない間に車デポ地に着き、本日の山歩きは大団円となった。

22日は付録として東芦見尾根の末端にある大平(おおだいら)山に登る。片貝山荘から下り、最初の部落から左に折れて立派な林道を車で上り詰めると登山口に着く。ちょっと後に到着した地元的女性連中も賑やかに準備を始める。今日はどうやら賑やかになりそうである。登りはじめると道はかなり整備されて歩き易く、満開のこぶしやら、イワカガミの群落がいたるところで迎えてくれ、そうこうしている内に頂上に着く。ここからの眺めもすばらしく僧ヶ岳、昨日登った毛勝三山、遠くには剣岳も望める絶好の展望台であり、低山のわりには人気の秘密の一旦が判ったような気がした。下山途中でこの山の登山道を開拓された魚津岳友会の有名な「佐伯郁夫」氏にもお会いでき、結構楽しい一日であった。

< リーダ所! 2年越しで毛勝三山の登頂を果たすことができた。メンバーにも天候にも恵まれ長年の想いを果たし充実した山行となった。

< フリースペース >

山の紹介・スケッチ・エピソード・その他自由に

左又のｺﾙから釜谷、毛勝山を望む

藤田 05/06/03